

# 医科学総論

責任者・コーディネーター	口腔医学講座（関連医学分野）千葉 俊美 教授				
担当講座（分野）	口腔医学講座(関連医学分野)、医学部各講座				
対象学年	3	区分・時間数	講義/演習	実習	
期間	前期		前期	39.0時間	—
			後期	—	—

## 学修方針（講義概要等）

3年次で症候学および内科各疾患、外科学総論、神経精神疾患について学ぶことを目的とする。これまで講義および実習で得た基礎医学の知識や経験を生かし、疾患の病態およびその対応について学修する。

## 教育成果（アウトカム）

歯科医師が必要とする医学的知識を症候学から代表的疾患まで網羅し、さらに外科学における観点も踏まえて医学的な基本知識の習得を目的とし、基礎専門科学目で学んだ知識をもとに、疾患の病態を考えることが出来る。

（関連するディプロマポリシー：4、8）

## 到達目標（SBOs）

1. 症候学について理解し説明できる。
2. 脳血管疾患について理解し説明できる。
3. 内分泌疾患について理解し説明できる。
4. 循環器疾患について理解し説明できる。
5. 糖尿病・代謝疾患について理解し説明できる。
6. 脳神経内科疾患について理解し説明できる。
7. 腎疾患について理解し説明できる。
8. 呼吸器疾患について理解し説明できる。
9. 血液疾患について理解し説明できる。
10. 消化器疾患について理解し説明できる。外科学における侵襲と生体反応，外科的感染症，ショック，周術期管理，滅菌・消毒，出血・止血について理解し説明できる。
11. 神経精神疾患について理解し説明できる。
12. 自己免疫疾患について理解し説明できる。
13. 胆膵疾患について理解し説明できる。
14. 感染症・院内感染について理解し説明できる。

## 事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/9 (火)	1	千葉俊美教授 (口腔 医学講座関連医学分野)	<b>内科学 内科診察の基本 症候学1</b>	1. 診察の手順について理解し説明できる。 2. 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまいについて理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	4/9 (火)	2	千葉俊美教授 (口腔 医学講座関連医学分野)	<b>内科学 症候学2</b>	1. 咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	4/16 (火)	1	千葉俊美教授 (口腔 医学講座関連医学分野)	<b>内科学 症候学3</b>	1. 食思不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	4/16 (火)	2	千葉俊美教授 (口腔 医学講座関連医学分野)	<b>脳血管疾患</b>	1. 脳内出血、脳梗塞について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	4/22 (月)	1	瀬川利恵講師 (内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	<b>内分泌疾患</b>	1. 主要なホルモンの作用、下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患について理解し説明できる。 [D-2-3, A-3-1-9]
講義	4/23 (火)	1	石田大准教授 (内科学講座循環器内科分野)	<b>循環器疾患1</b>	1. 循環器薬とその作用について理解し説明できる。 2. 高血圧、心不全、心内膜炎について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	4/23 (火)	2	肥田頼彦特任講師 (内科学講座循環器内科分野)	<b>循環器疾患2</b>	1. 心筋梗塞、狭心症について理解し説明できる。2. 大動脈、末梢動脈の治療について理解し説明する。 [D-2-3]
講義	4/30 (火)	1	石垣 泰教授 (内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	<b>糖尿病疾患</b>	1. 糖尿病の成因、病態、合併症と治療法について理解し説明できる。 [D-2-3]

講義	4/30 (火)	2	石垣 泰教授 (内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	<b>代謝疾患</b>	1. 脂質異常症、尿酸代謝異常、肥満症の病態と治療法について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	5/13 (月)	1	石塚直樹講師 (内科学講座脳神経内科・老年科分野)	<b>脳神経内科疾患</b>	1. 主要な脳神経内科疾患について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	5/14 (火)	1	木村琢巳講師 (内科学講座循環器内科分野)	<b>循環器疾患3</b>	1. 不整脈、感染性心内膜炎について理解し説明できる。2. 不整脈アブレーション治療について理解し説明する。 [D-2-3]
講義	5/14 (火)	2	千葉俊美教授 (口腔医学講座関連医学分野)	<b>腎疾患</b>	1. 腎炎、慢性・急性腎不全について理解し説明できる。 [D-2-3, A-3-1-10]
講義	5/21 (火)	1	内海裕助教 (内科学講座 呼吸器内科分野)	<b>呼吸器疾患1</b>	1. アレルギーの分類、機序と代表的疾患、気管支喘息の病態、アナフィラキシーショックの病態について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	5/21 (火)	2	内海裕助教 (内科学講座呼吸器内科分野)	<b>呼吸器疾患2</b>	1. 気管支炎、肺炎、COPD、肺癌について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	5/28 (火)	1	佐々木了政助教 (内科学講座血液腫瘍内科分野)	<b>血液疾患1</b>	1. 貧血、出血性素因、血友病、von Willebrand病について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	5/28 (火)	2	佐々木了政助教 (内科学講座血液腫瘍内科分野)	<b>血液疾患2</b>	1. リンパ腫について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	6/4 (火)	1	小宅達郎准教授 (内科学講座血液腫瘍内科分野)	<b>血液疾患3</b>	1. 白血病、AIDSについて理解し説明できる。 [D-2-3]

講義	6/4 (火)	2	千葉俊美教授（口腔医学講座関連医学分野）	<b>消化器疾患1</b>	1. 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性・慢性肝炎、肝硬変、胃食道逆流症について理解し説明できる。 [D-2-3, A-3-1-7]
講義	6/11 (火)	1	千葉俊美教授（口腔医学講座関連医学分野）	<b>消化器疾患2</b>	1. 胃癌、大腸癌について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	6/11 (火)	2	梅邑晃准教授（外科学講座）	<b>外科学1</b>	1. 侵襲と生体反応、外科的感染症、ショックについて理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	6/18 (火)	1	新田浩幸教授（外科学講座）	<b>外科学2</b>	1. 周術期管理、滅菌・消毒、出血・止血について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	6/18 (火)	2	小泉文人助教（神経精神科学講座）	<b>神経精神疾患</b>	1. 統合失調症、うつ病、双極性障害、アルコール・薬物依存症について理解し説明できる。 [D-2-3]
講義	6/25 (火)	1	仲哲治教授（内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野）	<b>自己免疫疾患1</b>	1. 膠原病など自己免疫疾患、免疫不全について理解し説明できる（その1）。 [D-2-3]
講義	6/25 (火)	2	駒ヶ嶺正嗣特任講師（内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野）	<b>自己免疫疾患2</b>	1. 膠原病など自己免疫疾患、免疫不全について理解し説明できる（その2）。 [D-2-3]
講義	7/2 (火)	1	千葉俊美教授（口腔医学講座関連医学分野）	<b>胆・膵疾患</b>	1. 胆道疾患の主要な症候、病態 2. 膵疾患の主要な症候、病態 [D-2-3]
講義	7/2 (火)	2	千葉俊美教授（口腔医学講座関連医学分野）	<b>感染症・院内感染</b>	1. 肺結核、感染症、菌交代現象、院内感染経路および院内感染防止対策などについて理解し説明できる。 [D-2-3]

## 教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	歯科医師のための内科学	千葉俊美, 山田浩之編	医歯薬出版	2021
教	標準外科学 第16版	北野正剛監修、坂井義治他編	医学書院	2022
教	Pocket Drugs 2023	福井次矢 監修、小松康弘他編	医学書院	2023
参	Internal Medicine for Dental Treatments	Toshimi Chiba, Hiroyuki Yamada, Editors	Springer	2024
参	イヤートート2024: 内科・外科編		Medic Media	2023
参	内科学(第12版)(分冊版)	矢崎義雄総編集	朝倉書店	2022
参	病気がみえる(各シリーズ)	医療情報科学研究所／編集	Medic Media	2009-17
参	標準精神医学第8版	野村総一郎 監修	医学書院	2021
参	シリーズまとめてみた精神科 第2版	天沢ヒロ 著	医学書院	2019

## 成績評価方法・基準・配点割合等

定期試験で評価する (100%)  
\*各講義数に応じた問題数による総合試験を実施

## 特記事項・その他 (試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等)

特記事項なし

## 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン一式 EliteDesk 800 G5 SF/CT	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料作成用